

「アールブリュット展」

30日まで 上富田

多彩な力作の数々に見入る来場者
(22日、上富田町朝来で)



上富田町朝来の上富田文化会館で22日、県内に住む障害のある人たちの作品展「アールブリュット和歌山特別展」が始まった。30日まで。無料。

町、町教育委員会、県福祉事業団主催、紀伊民報後援。絵画や立体造形、陶芸、工芸など多彩な作品約170点を展示。過去4回の中からえりすべりの作品を集めた。

出品者は約50人。1本の鉛筆だけで描き上げた緻密な絵画、アルミホイルや紙を使って恐竜や昆虫に仕上げた作品、陶芸ではイヌ335匹、ネコ513匹を規則正しく並

げさせず、同18日まで放置したとしている。

和歌山県警によると、湯を沸かして椅子の上に置いていたやかんに四男が接触。18日に訪れた祖母がやけどに気がつき、将希被告らと病院へ連れて行った。病院関係者が警察へ通報した。

べて一つの作品にしたものなどがある。

来場者は「会場に入ったとたん、作品に圧倒された。感性がすごい」などと感心していた。

時間は午前9時～午後5時。問い合わせは、町教委(0739・47・5930)へ。

ふるさと教室

25日 闘雞神社

田辺市東陽の闘雞神社は25日午後7時から、「ふるさと教室」を神社会館で開く。

県立紀伊風土記の丘の主査学芸員、蘇理剛志さんが「紀南地方の祭礼・山車の祭り」を演題に語る。長澤好晃宮司も祭りについて語る。

教室は神社創建1600年を記念して1月から毎月25日にテーマを変えて開催している。無料。

休刊のお知らせ

24日付(夕刊配達地域は23日夕)の本紙は休刊させていただきます。

紀伊民報